

記述言語学の立場から

定延利之
(京都大学)

1

記述言語学の伝統的な考え：「母語話者は流暢」

“Within descriptive linguistics, the unspoken default scenario is that **the ideal output is fluent**. The emphasis is on competence in executing the rules of language, rather than performance in the real world, where things go awry. The result of following the rules should be fluent speech.”

[Lickley 2015: 450]

2

新しい考え：母語話者の発話も基本は非流暢

“However, both casual observation and corpus studies of unrehearsed speech suggest that **such fluency is the exception, rather than the rule**. Disfluencies occur at an average rate of around 6 per 100 fluent words (Bortfeld et al. 2001; Eklund 2004; Fox Tree 1995; Shriberg 1994). Longer utterances attract more disfluencies (Oviatt 1995; Shriberg 1994), as do more complex ones (Lickley 2001; Shriberg 1994).”

[Lickley 2015: 451-452]

3

「母語話者のよどみはある意味 流暢」という考えまであるが……

“However, in order for a language learner to reach a level of proficiency that matches natives speakers, it may also be reasonable for the learner to aspire to reach **native-speaker levels of disfluency**, by acquiring appropriate native-like hesitation and by being prone to native-like speech error and repair, which they can then repair efficiently (**“repair fluency”** Tavakoli and Skehan 2005). So, in some sense, the goal is similar to that of a person who stutters; to achieve typical levels of **speech fluency, rather than the faultlessly smooth speech of an “ideal” speaker.**” [Lickley 2015: 449]

4

ここでの「(非)流暢」とは？

「(非)流暢性」の定義は研究者間で揺れている。

[Gilquin and De Cock 2013]

暫定的な定義：「流暢」とは、その場に合った内容を、首尾一貫した形で、その言語の統語法に沿って、スラスラと、しかも丸暗記でなしに話し続けられること。「流暢」でないのが「非流暢」。

[Cf. Fillmore 1979]

5

実例



なんでね、こう、あの一、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、ん、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、こう、浴びるようなあ、ことを助長するようなあ、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

6

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- こま切れ発話
- つっかえ

7

非流暢な発話のパターン

- **フィラー**
- こま切れ発話
- つっかえ

8

パターン① フィラー（言いよどみの語）



なんでね、**こう**、**あの一**、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、**ん**、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、**こう**、浴びるようなあ、ことを助長するようなあ、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

9

フィラーを除くと、こうなる



なんでね、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、浴びるようなあ、ことを助長するようなあ、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

10

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- **こま切れ発話**
- つっかえ

11

パターン② こま切れ発話（文節・連文節ごとの発話） [Iwasaki 1993]



なんでね、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、浴びるようなあ、ことを助長するようなあ、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

12

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- こま切れ発話
 - 傾向1：文節の末尾に「跳躍的上昇+下降」が現れやすい。
 - 傾向2：文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3：文節の末尾に判定詞が現れやすい。
- つっかえ

13

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- こま切れ発話
 - 傾向1：文節の末尾に「跳躍的上昇+下降」が現れやすい。
 - 傾向2：文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3：文節の末尾に判定詞が現れやすい。
- つっかえ

14

②こま切れ発話の特徴1： 文節末の音調に跳躍的上昇+下降が生じやすい



なんでね、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、浴びるようなあ、ことを助長するようなあ、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

15

こま切れ発話の跳躍的上昇+下降は 老若男女を問わずよくある



んでね、そういう風な話も聞いてたしい、まあ、シヤイであんまり社会的でないというの聞いてたしい...

でもそれはあ、なんて言うの新陳代謝？の問題もあるからあ、それでえ、流行ってるのま、周りが、でえ、そういう、はがれちゃうっていうのもあるみたいだけども...

その一さっきのあの声原一あの、「太鼓正」のあ、練習、増をたえは金曜日の晩とか借りられた...

紹介状としよう、診断書はまたちがうけんども...

16

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- こま切れ発話
 - 傾向1：文節の末尾に「跳躍的上昇+下降」が現れやすい。
 - 傾向2：文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3：文節の末尾に判定詞が現れやすい。
- つっかえ

17

②こま切れ発話の特徴2： 文節末に終助詞（間投助詞）が現れやすい



なんでね、普通の、普通のね、普通の女性がですよ、ふだん歩いている姿が、お、男の視線をね、浴びるような、ことを助長するような、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

18

終助詞の音調は文節末では下降しない
(ただし跳躍的上昇+下降は例外)

- ・言ってよ。★(音調が下降しているので文末)
- ・言ってよお。(跳躍的上昇+下降なので、文末ではなく文の途中)
- ・だからさ。★(音調が下降しているので文末)
- ・だからさあ。(跳躍的上昇+下降なので、文末ではなく文の途中)
- ・濃いね。★(音調が下降しているので文末)
- ・濃いねえ。(跳躍的上昇+下降なので、文の途中)
- ・濃いねえ。(跳躍的上昇+下降だが、文末の場合もある)

19

文節末の終助詞を除くと、こうなる



なんで、普通の、普通の、普通の女性がです、ふだん歩いている姿が、お、男の視線を、浴びるような、ことを助長するような、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

20

非流暢な発話のパターン

- ・フィラー
- ・こま切れ発話
 - 傾向1：文節の末尾に「跳躍的上昇+下降」が現れやすい。
 - 傾向2：文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3：文節の末尾に判定詞が現れやすい。
- ・つかえ

21

②こま切れ発話の特徴3：
文節の末尾には判定詞が現れやすい



なんで、普通の、普通の、普通の女性がです、ふだん歩いている姿が、お、男の視線を、浴びるような、ことを助長するような、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

22

こま切れ発話では判定詞の音調は低い

- わ、人が **いっぱい** だなあ。
 - 人が/だなあ、**いっぱい** /だなあ、来て/だなあ。
- そんなことは **偶然** じゃ。
 - 家に/じゃのう、**偶然** /じゃのう、いて/じゃのう。
- 主君の命令は **絶対** です。
 - 不正は/ですね、**絶対** /ですね、許さないという姿勢が/ですね。

23

切れ目の直後の助詞・判定詞は低音調

- ・行く(動詞) /が(格助詞) よい。
- ・言う(動詞) /は(係助詞) 易く、行う(動詞) /は(係助詞) 難し。
- ・今度の出張は、社長と(格助詞) /だ(判定詞)。
- ・あっかんべー(感動詞) /だ(判定詞)。

24

文節末の判定詞を除くと、こうなる



なんで、普通の、普通の、普通の女性が、ふだん歩いている姿が、お、男の視線を、浴びるような、ことを助長するような、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

25

非流暢な発話のパターン

- フィラー
- こま切れ発話
 - 傾向1: 文節の末尾に「跳躍的上昇+下降」が現れやすい。
 - 傾向2: 文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3: 文節の末尾に判定詞が現れやすい。

• **つかえ**

26

③つかえ



なんで、普通の、普通の、普通の女性が、ふだん歩いている姿が、お、男の視線を、浴びるような、ことを助長するような、ものが売れるのかって、わけわからんのですけどね。

27

つかえの型と方式

基本的な4パターン（語句「AB」の「A」を言った時点でつかえる場合）

| 後処理の方式 | 初頭戻り方式 | 続行方式 |
|--------|---------|--------|
| つかえの型 | | |
| とぎれ型 | 「A, AB」 | 「A, B」 |
| 延伸型 | 「A-AB」 | 「A-B」 |

28

とぎれ型・初頭戻り方式の実例「そし、そして」



年末の、福引き一を、商店街でしてたんですね。そし、そして私は..

https://www.speech-data.jp/chotto/2011_sub/2011008.html 00:21-00:22

29

とぎれ型・続行方式の実例



おが、しいんですよ

The people on the street seemed to be thinking, 'It looks strange.'

https://www.speech-data.jp/chotto/2011_sub/2011010.html 02:30-02:31

30

延伸型・初頭戻り方式の実例



えーきゅうじゅう—
きゅうじゅう—ろく
だったんですけどね

But he was in his nineties, ninety-six.

https://www.speech-data.jp/chotto/2013_sub/2013013.html 00:35-00:37

31

延伸型・続行方式の実例



あら けーさ行った
はずなのに

When my husband then called one Monday evening, I wondered what was the matter, thinking, 'oh he should have left this morning,' and when I answered, he asked, 'How's your kaze ('

https://www.speech-data.jp/chotto/2011_sub/2011007.html 00:59-01:01

32

驚きのつかえは、とぎれ型・初頭戻り方式

【状況】 隣人に、それまでいたところをたずねると、「ブラジル」と言われ驚いて

- ① ブ、ブラジル！ ② ブ、ラジル！
- ③ ブーブラジル！ ④ ブーラジル！

33

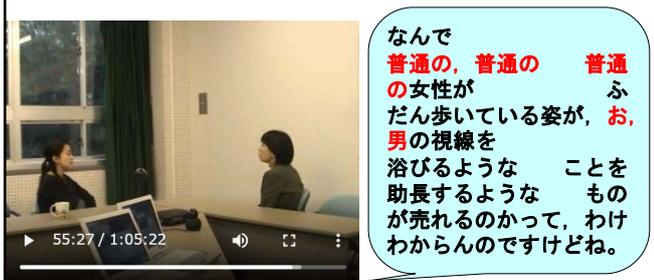
ためらいのつかえ方は、いろいろ

【状況】 国旗を見て国名を当てるクイズをしていて、自信がなく、ためらいがちに

- ① ブ、ブラジル ○② ブ、ラジル
- ③ ブーブラジル ○④ ブーラジル

34

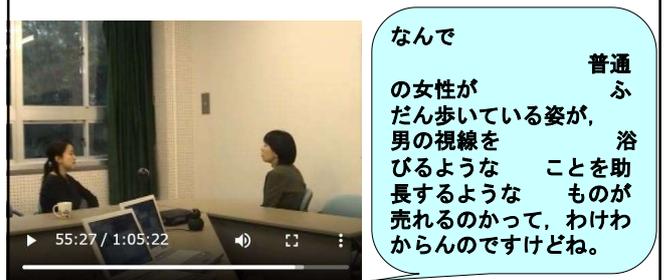
つかえを除くと



なんで
普通の、普通の 普通の
の女性が だん歩いている姿が、お、
男の視線を 浴びるような ことを
助長するよう な もの
が売れるの かって、わけ
わからん の ですけどね。

35

流暢な発話に！



なんで
普通の 普通の
の女性が だん歩いている姿が、お、
男の視線を 浴びるような ことを
助長するよう な もの
が売れるの かって、わけ
わからん の ですけどね。

36

まとめ

- フィラー
- こま切れ発話
 - 傾向1：文節の末尾に「跳躍的上昇＋下降」が現れやすい。
 - 傾向2：文節の末尾に終助詞が現れやすい。
 - 傾向3：文節の末尾に判定詞が現れやすい。
- つっかえ

37

主な文献

- Iwasaki, Shoichi 1993. "The structure of the intonation unit in Japanese," Choi, Soonja (ed.), *Japanese/Korean Linguistics*, Vol. 3, pp. 39-51.
- Sadanobu, Toshiyuki. 2021. "Is discourse made up of sentences?: Focusing on dependent grafted speech in modern standard Japanese." *Journal of Japanese Linguistics*, Vol. 37, Issue 2, pp. 151-180. DOI: 10.1515/jjl-2021-2039 <https://www.degruyter.com/journal/kev/jjl/37/2/html>
- Sadanobu, Toshiyuki. "Attitudinal correlates of word-internal disfluencies in Japanese communication." *DiSS (Disfluency in Spontaneous Speech)* 2021, August 25, 2021, Online.

38